

事務局だより

◆：第三回実行委員会の討議事項をお知らせします。

第三回実行委員会（一九九三年一二月三日）WSFジャパン事務局

①女性スポーツフォーラムについて：WSFジャパンから講師を派遣する

「出張フォーラム」が十一月に企画された。講師はWSFジャパン会員で、元五輪日本代表の小野清子さん。派遣

先は女子サッカー日本代表チーム。しかし、チームのスケジュール調整がつかず、今回の実施は見送りとなった。従

来形式のものは講師候補に日本体育協会会長の高原須美子さんをあげ、出演

交渉に関する途中経過報告があった。

②『WSFジャパンの歩み』について：様々なスポーツ団体から活動史などの資料を提供してもらい、そこから女性

性スポーツ関連事項をピックアップしていく。

③WSFジャパンニュースについて：二十七号（一九九四年二月発行予定）の内容について検討。

◆：前号で女性スポーツフォーラムの講師として、日本体育協会の初の女性

会長、高原須美子さんに交渉中であることをお伝えしました。その後、高原

さんの秘書と何回か電話でやりとりしたのですが、本業の経済界でのお仕事

が多忙を極め、スポーツ界での活動は難しいとのこと返事でした。

日本体育協会が一大目標として掲げる「生涯スポーツの振興」は、今や女性

性の力に大いに支えられているのです。そして、女性たちは男性にはない

様々な問題を抱えているのも事実です。高原さんには、このような面にも

十分に目配りした采配を期待しているのですが。 (三ッ谷)

◆：一月一日付朝日新聞に「女性とスポーツ」の特集がありました。読まれた方もいらつしやると思いますが、女

子選手の記録の変遷や歴史のほか、月経や妊娠といった生理的問題、恋愛は

選手生活にプラスかマイナスかといった精神面からのアプローチなども含め、

内容豊富な読み物でした。

記事としてまとめたのは、WSFジャパンの会員でもある杉山圭子さんと、

杉崎利香さんの二人の運動部記者。十一月中旬にWSFジャパン事務局を

訪れ代表の三ッ谷洋子さんにアドバイスを受けながら、二日間にわたり事務

局の資料と格闘していました。十二年間の女性スポーツをカバーした三千七

冊のファイルが役に立ったようです。

◆：この度、WSFジャパン代表の三ッ谷さんが、エイボン女性文化センターの顧問委員に選出されました。

エイボン女性文化センターは、米国内本社を置く化粧品会社エイボンの日本

支社が、女性たちの地位向上と、社

会全体の発展に寄与することを目的に、一九七九年に設立しました。

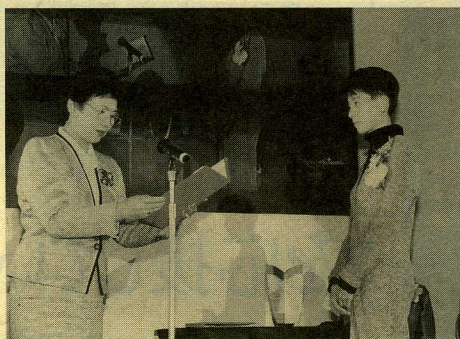
その主な活動の一つに、様々な分野で社会貢献を果たした女性たちへ贈る

「エイボン女性年度賞」の表彰があり、顧問委員は各賞の選考にあたります。

(顧問委員は三ッ谷代表のほか、ノンフィクション作家・沖藤典子さん、エ

ッセイスト・神津カンナさん、「広告批評」編集長・島森路子さん、東京家政

大学教授・樋口恵子さん、弁護士・福島瑞穂さんの計六人です。)



▲「エイボン女性年度賞の表彰式」(右がスポーツ賞を受賞した浅利純子さん)

「エイボン女性年度賞」には「大賞」をはじめ、「功績賞」「教育賞」「芸術賞」「スポーツ賞」の五部門があります。

九三年度の「スポーツ賞」は、昨年の世界陸上のマラソンで、日本女子陸上

界に初の金メダルをもたらした浅利純

子さんが受賞しました。過去の受賞者には、WSFジャパン会員でもある大

貫映子さん(チャネルスイマー)八二年度)や、田部井淳子さん(登山家)八八年度)がいます。

三ッ谷代表、今年もまたまた忙しくなりそうです。

◆：今年も世界各地で、女性スポーツの会議が開催されます。詳細をお知り

になりたい方はWSFジャパン事務局まで。

『ウーマン・スポーツ・アンド・ザ・チャレンジオブチェンジ』日程/五月五日-八日、会場/ブライイトングラ

ンドホテル(英国・ブライイトン)

『WSF二十周年記念総会』日程/五月十二日-十五日、会場/ワシントンDC(米国・ワシントン)

◆個人会員 ◆吉中康子(京都・亀岡市) ◆川淵三郎(千葉・千葉市) ◆山本尚子(東京・狛江市) ◆古田裕子(東京・羽村市)(二月十日現在)

新会員紹介

WSF Japan News

第27号 季刊
 発行 1994年2月
 発行人 三ッ谷洋子
 編集 WSFジャパン事務局
 発行人 WSF Japan
 〒151 東京都渋谷区西原3-36-23-203
 SPORTS 21内
 TEL 03(3467)4360
 FAX 03(3467)5455